\* \* 2021年3月改訂(第9版)

貯 法:室温保存

# 而行促進·皮膚保湿剤

日本標準商品分類番号 873339

# ヒルドイドップト 軟膏0.3%

## Hirudoid Soft Ointment

使用期限:包装箱、直接の容器に表示。 へパリン類似物質 クリーム

承認番号	22000AMX02390000
薬価収載	2008年12月
販売開始	1996年7月



## 〔禁忌(次の患者には使用しないこと)〕

- (1)出血性血液疾患(血友病、血小板減少症、紫斑病等) のある患者〔血液凝固抑制作用を有し、出血を助長 するおそれがある〕
- (2) 僅少な出血でも重大な結果を来すことが予想される 患者〔血液凝固抑制作用を有し、出血を助長するお それがある〕

## \*\* [組成・性状]

成分・含量 (1g中)	へパリン類似物質3.0mg
添加物	グリセリン、スクワラン、軽質流動パラフィン、パラフィン、マイクロクリスタリンワックス、白色ワセリン、サラシミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、ジブチルヒドロキシトルエン、エデト酸ナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル
性状	白色のクリーム剤で、わずかに特異なにおいが ある
基剤の種類	油中水型の乳剤性基剤

## [効能・効果]

血栓性静脈炎(痔核を含む)、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期)

## 〔用法・用量〕

通常、1日1~数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等にのばして貼付する。

## \* [使用上の注意]

#### 1. 副作用

総投与症例119例中、本剤による副作用は認められなかった。 (承認時)

本剤と生物学的同等性を有する製剤の副作用に基づいて記載した。

## その他の副作用

次のような症状があらわれた場合には、使用を中止する など適切な処置を行うこと。

			頻度不明	0.1~5%未満				
過	敏	症	皮膚刺激感	皮膚炎、	そう痒、	発赤、	発疹、	潮紅等
皮			紫斑					
(投与部位)		位)						

## 2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。

#### 3. 適用上の注意

投与部位:潰瘍、びらん面への直接塗擦又は塗布を避けること。

眼には使用しないこと。

#### 「臨床成績」

国内総計119例を対象とした臨床試験 $^{1/2)}$ における改善率は、次のとおりであった。

対 象 疾 患 名	改善率(%)〔改善以上〕			
皮脂欠乏症	95.0 [57/60]			
進行性指掌角皮症	71.2 (42/59)			

## 〔薬効薬理〕

#### 1. 血液凝固抑制作用3)4)

血液凝固時間を延長し、血液凝固抑制作用を示す。

(ヒト、イヌ、ウサギ)

## **2. 血流量増加作用**5)~7)

水素クリアランス法による実験で、皮膚組織血流量の増加を認めた。(ウサギ)

## 3. 血腫消退促進作用

実験的血腫の消退促進を認めた。(ウサギ)

#### 4. 角質水分保持増強作用

皮膚に対する保湿効果を有し(ヒト)<sup>8)</sup>、実験的乾燥性皮膚において 角質水分保持増強作用を認めた<sup>7)9)</sup>。(モルモット)

## 5. 線維芽細胞増殖抑制作用4)10)

組織癒着防止に関する実験で、線維芽細胞増殖の抑制を認めた。

(ウサギ)

## 〔有効成分に関する理化学的知見〕

一般名:ヘパリン類似物質(Heparinoid)

性 状:帯黄白色の無晶性の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。

水に溶けやすく、メタノール、エタノール(95)、アセトン又は1-ブタノールにほとんど溶けない。 水溶液( $1\rightarrow 20$ )のpHは $5.3\sim 7.6$ である。

## [包装]

チューブ: 25g×10、25g×50、50g×10、50g×50 瓶: 100g、500g

## [主要文献]

- 1) 長島正治ら:臨床医薬, 10(7), 1671(1994)
- 2) 原田昭太郎ら:臨床医薬, 10(7), 1683(1994)
- 3) 石川浩一ら:外科, 17(12), 849(1955)
- 4) 中安国裕: 東京慈恵会医科大学雑誌, 76(2), 494(1961)
- 5) 前田誠二ら:薬効薬理に関する社内資料(血流量増加作用)
- 6) 木戸裕子ら:基礎と臨床, 30(3), 463(1996)
- 7) 土肥孝彰ら:薬理と治療,29(2), 127(2001)
- 8) 安藤隆夫ら:日本香粧品科学会誌, 8(3), 246(1984)
- 9) 難波和彦: 久留米医学会雑誌, **51**(6), 407(1988) 10) 間狩 孝: 日本外科宝函, **28**(9), 3757(1959)

## 〔文献請求先・製品情報に関するお問い合わせ先〕

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

マル ホ株式会社 製品情報センター 〒531-0071 大阪市北区中津1-11-1

TEL: 0120-12-2834



®登録商標